

中学校音楽科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点								
1	(1) ※ 別紙 (計1枚)		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×4	70							
	(2) ※ 別紙 (計1枚)		問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。 正確で読みやすい記譜の表記であること。 拍子と調を正しく変えていること。 創造性豊かな表現の工夫が見られること。(リズム、旋律の変化など)	20								
	2 ※ 別紙 (計1枚)		問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。 正確で読みやすい記譜の表記であること。 演奏が可能な音域で創作されていること。 創造性豊かな表現の工夫が見られること。(リズム、旋律の変化など)	30								
2	<p>題材名 (「長唄」の特徴を感じ取って唄おう)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>学習活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 長唄の特徴や、長唄の初歩的な発声、言葉の発音、身体の使い方などに関心をもって唄う。 ・歌舞伎「勸進帳」の長唄を聴き、あらすじや歌舞伎の特徴を思い出す。 ・長唄「これやこの～」の部分で聴いたり唄ったりして、音高や言葉のつながり方など、気付いたことをワークシートに書き、発表し合う。 ・DVDを視聴したりCDを繰り返し聴いたりして、長唄にふさわしい声の出し方、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを工夫して唄う。 </td> </tr> <tr> <td>第2時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現を工夫し、どのように唄うかについて思いや意図をもつ。 ・長唄の声や言葉の特性に関心を持ち、場面やあらすじなどとの関わりを考える。 ・CDを聴いて参考にしたり、いろいろな歌唱表現を試したりして、どのような声や言葉の表現で唄いたいかについて考え、ワークシートに記入する。 ・書いた内容をもとに話し合い、個人や学級全体で唄ってみる。その上で、適宜、書いた内容を修正する。 </td> </tr> <tr> <td>第3時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 創意工夫したことを生かし、長唄らしく唄う技能を身に付けて歌唱する。 ・前時までに学習してきたことを生かし、グループで「これやこの～」の部分で唄う。その際、長唄らしく唄うための発声、言葉の発音、身体の使い方などをグループで工夫する。 ・グループごとに演奏し、聴き合い交流する。 </td> </tr> </tbody> </table>		時間	学習活動	第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長唄の特徴や、長唄の初歩的な発声、言葉の発音、身体の使い方などに関心をもって唄う。 ・歌舞伎「勸進帳」の長唄を聴き、あらすじや歌舞伎の特徴を思い出す。 ・長唄「これやこの～」の部分で聴いたり唄ったりして、音高や言葉のつながり方など、気付いたことをワークシートに書き、発表し合う。 ・DVDを視聴したりCDを繰り返し聴いたりして、長唄にふさわしい声の出し方、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを工夫して唄う。 	第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現を工夫し、どのように唄うかについて思いや意図をもつ。 ・長唄の声や言葉の特性に関心を持ち、場面やあらすじなどとの関わりを考える。 ・CDを聴いて参考にしたり、いろいろな歌唱表現を試したりして、どのような声や言葉の表現で唄いたいかについて考え、ワークシートに記入する。 ・書いた内容をもとに話し合い、個人や学級全体で唄ってみる。その上で、適宜、書いた内容を修正する。 	第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創意工夫したことを生かし、長唄らしく唄う技能を身に付けて歌唱する。 ・前時までに学習してきたことを生かし、グループで「これやこの～」の部分で唄う。その際、長唄らしく唄うための発声、言葉の発音、身体の使い方などをグループで工夫する。 ・グループごとに演奏し、聴き合い交流する。 	<p>題材名は、問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。 学習活動は、内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p>	30
時間	学習活動											
第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長唄の特徴や、長唄の初歩的な発声、言葉の発音、身体の使い方などに関心をもって唄う。 ・歌舞伎「勸進帳」の長唄を聴き、あらすじや歌舞伎の特徴を思い出す。 ・長唄「これやこの～」の部分で聴いたり唄ったりして、音高や言葉のつながり方など、気付いたことをワークシートに書き、発表し合う。 ・DVDを視聴したりCDを繰り返し聴いたりして、長唄にふさわしい声の出し方、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを工夫して唄う。 											
第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現を工夫し、どのように唄うかについて思いや意図をもつ。 ・長唄の声や言葉の特性に関心を持ち、場面やあらすじなどとの関わりを考える。 ・CDを聴いて参考にしたり、いろいろな歌唱表現を試したりして、どのような声や言葉の表現で唄いたいかについて考え、ワークシートに記入する。 ・書いた内容をもとに話し合い、個人や学級全体で唄ってみる。その上で、適宜、書いた内容を修正する。 											
第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創意工夫したことを生かし、長唄らしく唄う技能を身に付けて歌唱する。 ・前時までに学習してきたことを生かし、グループで「これやこの～」の部分で唄う。その際、長唄らしく唄うための発声、言葉の発音、身体の使い方などをグループで工夫する。 ・グループごとに演奏し、聴き合い交流する。 											

中学校音楽科採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点	
3	1	(a)	(イ)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 2	30
		(b)	(ウ)			
	2	(1)	左手で糸を押さえるときの正しい位置。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	
(2)		ばち先で糸の下から上へすくい上げる奏法。				
3	三味線の奏法は、ばちをばち皮に打ち下ろして音を出すのに対して、三線の奏法は、爪で弦をはじいて音を出す。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		
4	我が国や郷土の伝統音楽と、アジア地域の諸民族の音楽とを比較して聴き、それぞれの音楽の特徴の共通点や相違点、あるいはその音楽だけにみられる固有性などを感じ取ったり、それぞれの音楽について、歴史的・地域的な背景などと関わらせて聴いたりする学習活動。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		
5	1	(ア)	ロンド形式	ロンド もよい。	各 3 × 2	22
		(イ)	序破急			
	(2)	(a)	展開部		各 3 × 2	
(b)		トリオ				
2	<ul style="list-style-type: none"> 自由に音を出すことを楽しみながら、その音をよく聴いて自己のイメージに合うような音高を選んだり、音のつながり方や奏法を様々に試したりするように促す。 自己のイメージと、箏の音色や奏法の特徴とを関わらせて旋律をつくらせる。 		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		
6	1	(ア)	能や狂言の声楽部分。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 4	28
		(イ)	強くしながらだんだん遅く。			
		(ウ)	オクターヴに含まれる 12 の半音すべてを均等に扱い、無調を組織化する技法。			
		(エ)	アルプス地方で歌われる裏声と地声を交互に組み合わせる歌唱法。また、その方法で歌われる音楽。			
2	(ア)	楽曲名 バレエ音楽「春の祭典」	作曲者名 ストラヴィンスキー	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 4	
	(イ)	楽曲名 ラプソディー・イン・ブルー	作曲者名 ガーシュイン			
7	単に用語や記号などの名称などを知るだけでなく、音楽活動を通してそれらの働きを実感し、表現や鑑賞の学習に生かすことができるように配慮すること。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		

1

1

(1)

(ア)



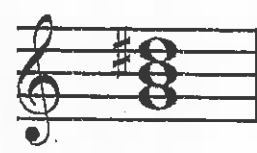
(イ)



(ウ)



(エ)



(2)



2

(ソプラノ)

(アルト)

(テノール)

(バス)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。